

3年道德通信

第1号

第1回『メダルの向こう側に』

3年生になって初めての道德は、スキージャンプの葛西紀明選手の業績を振り返る文章や資料を通して、困難や失敗を乗り越えて物事をやり遂げるために大切なことは何かを考えました。

2014年のソチ五輪で、世界最年長で銀メダルを獲得した葛西選手。彼は1992年のアルベールビル五輪に初出場して以来、なかなか五輪では結果を出すことができませんでした。ルールの変更やチームの解散、家族の病気など、さまざまな困難に直面しながらも、逃げたいと思ったことは一度もないと言います。「金メダルを取って真のレジェンドと呼ばれたい」と、葛西選手はさらに上を目指しています。

みんなの意見

メダリストが、どうしてさらなる上を目指すのか。

- ・家族、応援してくれる人のために頑張る。
- ・まだ自分なら、限界を超えられるという自信があるから。
- ・スキージャンプと出会って、まだ金を取ってないから。
- ・亡くなった母に、世界一になれると応援してもらったから。



今後の目標と、その目標を立てた理由は？

- ・『第一志望校に合格する』大人になって後悔したくないし、今の自分を超えたい。
- ・『苦手克服』私はいつも楽な方に行ってしまうため、つらくても踏ん張る！
- ・『絶対スタメンでレギュラーをとる！』今のサッカーチームに入ったときは3軍だったけど時間をかけて1軍に上がった。せっかく1軍だから、スタメンでレギュラーをとりたい！
- ・『京都吹奏楽コンクールGOLD金賞受賞』去年は連符が完璧にできないまま先輩にカバーしてもらったけど、今年は自分が先輩だから連符もできるようになりたい。
- ・『親孝行のできる人になる』感謝を込めて。
- ・『どれだけいやなことがあっても逃げない。あきらめない。』今どれだけ苦しくても、今を乗り越えれば結果が出るから。成長には遠回りするしかないから！
- ・『府大会1勝』先輩の記録を超えたい！
- ・『駅伝で近畿に行く』長距離女子みんなで決めた目標。ずっと府大会で中間ぐらいとか、下の方だから強いチームを破って近畿に行きたい。
- ・『頭を良くして人の役に立つ』いろんなことができていろんな道に進むことができるから

困難や失敗を乗り越えて、何かをやり遂げるために大切なことは、何だろう。